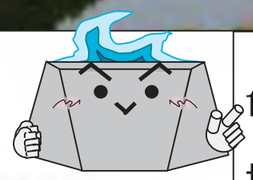
太田川ダムだより

発行：静岡県太田川ダム建設事務所　　第１８号　平成２０年１２月

成長してます！“かわせみ湖”

本号の内容

○ダムサイト状況
○試験湛水の内容
○ひび割れについて
○環境対策連絡会
○企業局からのお知らせ



ダム及び貯水池周辺の準備を整え10月16日試験湛水を開始しました。
今後は、環境用水を放流しながら、サーチャージ水位まで水を貯めます。

試験湛水では、最高水位（サーチャージ水位）まで貯水した後に、常時満水位まで水位を下げます。この間、所定の観測を行い安全性を確認します。

第14回 環境対策連絡会

（H20. 11. 28）

午前中は、ダム建設現場を視察
午後から、森町町民生活センターで会議

『かわせみ湖に魚が放流されたり、生態系を乱すような植物などが外から持ち込まれることのないよう、太田川漁協や地元と一体となり監視することが確認されました。』

（かわせみ湖放流禁止などについて）
放流魚の釣り等による水質悪化や、外来魚により在来種が駆逐することのないよう、魚の放流は禁止しています。→ →

静岡県企業局からのお知らせ

水道技術の研修に努めています。

平成20年10月30～31日に岐阜県営水道及び受水市町の職員計17名が、中遠事務所寺谷浄水場の工事現場と東部事務所富士川浄水場に設置した水道技術研修施設に研修のために訪れました。

研修施設は、企業局職員が必要最小限の水道技術を習得するための施設ですが、他県や関係市町にも参加を募っており、今年7月に開催した水道技術研修には、県外では北海道のほか5県、県内においては5市2町ほか応急協定を締結している3業者からも参加し漏水復旧の実習などの研修を行い、突発事故や漏水時に迅速・的確に対応する技術の習得を目指しています。

研修状況（写真は7月のもの）

給水開始に向けて、工事が進んでいます。

平成21年4月の一部給水開始に向けて遠州増設事業の工事が進められています。

写真は寺谷浄水場につくられた「薬品沈殿池」と呼ばれる施設で、川から取り入れた水の濁りを沈めやすくする薬品を混ぜ、濁りの固まりを沈殿させて取り除くための施設です。今後他の施設との総合試験運転を進め給水開始に備えます。

薬品沈殿池

遠州水道増設事業

遠州水道増設事業は、水道水の需要が増加する遠州地域の4市2町に対して、既設（天竜川と都田川から取水）の水道用水224,700m³/日に加え、太田川を水源とする67,400m³/日を供給するための施設を増設する事業です。

この太田川からの取水により、水源の複数化と水の相互融通が可能となり、渇水時や地震時等の異常時にも、より安定的な水道用水の供給が可能となります。

内容についてご質問等ございましたら・・・

静岡県太田川ダム建設事務所
〒437-0215　静岡県周智郡森町森1582-1
TEL:0538 (85) 2025　FAX:0538 (85) 0885
http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/ootagawa1/index.html
e-mail:otagawa-kouji@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県企業局事業室（水道関係について）
〒420-8601　静岡県静岡市葵区追手町9番6号
TEL:054 (221) 2167　FAX:054 (251) 5381

太田川ダムを見学してみませんか？

地域を守るダムが、どのように造られているのか、是非、現場でご覧ください。

（申し込み方法）

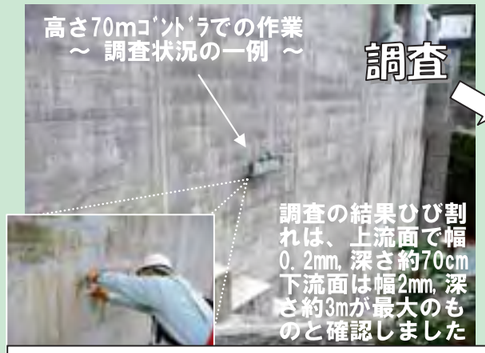
お電話でお申し込みください。
太田川ダム建設事務所　工事課企画調査係
電話 0538（85）2025

※平日に10名以上の団体で受け付けています。

New Public Engineering for SHIZUOKA
いっしょに、未来の地域づくり。
静岡県建設部

太田川ダムの試験湛水

試験湛水を実施するにあたり、ダム表面全体を清掃してひび割れなどの調査を行いました。その結果、上下流に連続するなど構造的に問題となるようなひび割れがないことを確認しました。



補修が必要となるひび割れ幅0.2mm以上の箇所には、超微粒子セメント系注入工法を実施し、11月末で上下流面全ての補修を完了しました。

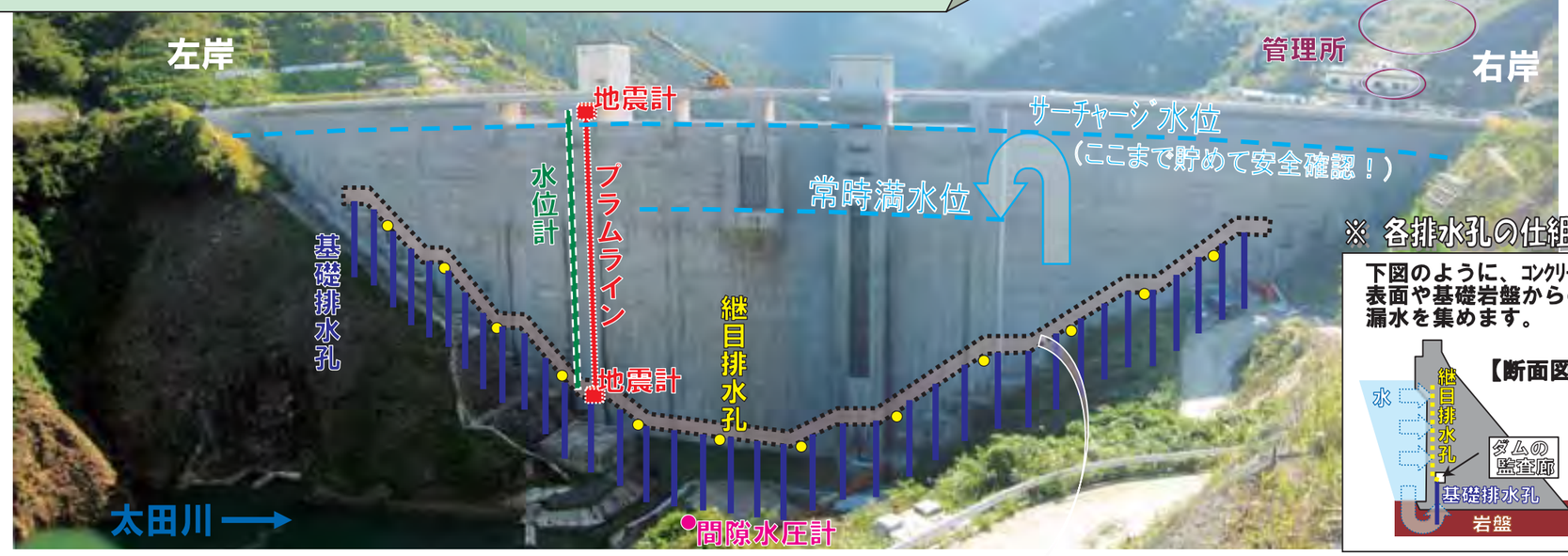
ダムの安全性に問題ありません！

太田川ダム管理所

管理所では、コンピュータにより機器を制御し安全管理に努めています。

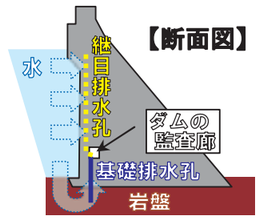
ダムでは毎秒 0.2立方ﾒｰﾄﾙを上回る水のみを貯めています。

流入量が毎秒 0.2立方ﾒｰﾄﾙを下回る時はその全量を放流しています。



※ 各排水孔の仕組み

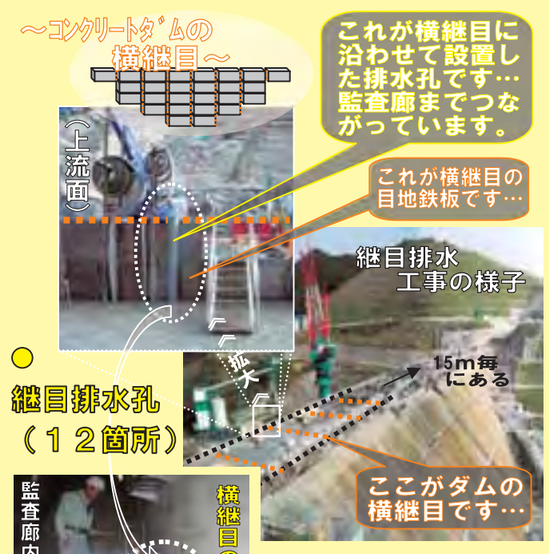
下図のように、ｺﾝｸﾘｰﾄ表面や基礎岩盤からの漏水を集めます。



ダムの計測計器

ダム内部には監査廊というトンネルがあり、様々な計測計器が埋め込まれています。以下、左写真と照らし合せてご覧下さい…

堤内の縦孔に吊り下げた長さ約50mの振子により、ダムの変形量を自動計測



継目排水孔からの漏水量を手動計測

貯水池巡視

試験湛水中は毎日、監査廊内での計測や堤体及び貯水池周辺の巡視を行っていますが、現在までに異常は認められておりません。

基礎排水孔（３７箇所）

基礎岩盤に排水孔（掘抜き井戸）を打ち込み、ダム底の揚圧力を低減させ堤体の安全を保つ役割があります。

基礎排水孔からの漏水量及び揚圧力を手動計測